

耗弱したタケオくん
ん 風にも怯え
て・・・

繊細なタケオくんは、

小さな風が吹いても体をこわばらせ背
中を丸めておびえます。

そんなことでは

この世界で歩いていくことはとても出
来ないよ。

だけどタケオくんは100メートル走

のスタート合図のホイッスルを吹いて
言うのだった。場所はグラウンド。

「繊細でないと見えない世界もある。僕
はそれを絵に描きたいんだ」

するとその瞬間、
テープラインから一斉に腰の曲がった

老婆たちがまっすぐ走り出した

横にいた植物園好きの女の子が言った。

「おばあちゃんたちはこのままずっと
夜まで走り続けるらしいよ」

辿りつく場所は街の外れの工場跡の丘
らしい

「僕はクリエイターさ」

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
ありがとうございました。